

2015年度（平成27年度）事業計画
(2015年4月1日から2016年3月31日)

1 学術研究会、学術講演会の開催

(1) 第56回日本神経学会学術大会を次のとおり開催する。

- ・大会長 新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野教授 西澤正豊
- ・会 期 2015年5月20日（水）から5月23日（土）までの4日間
- ・場 所 朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）・ホテル日航新潟

(2) 学術大会運営について

- ① 第60回学術大会大会長を選出する。
- ② 第57回学術大会の準備を進める。
- ③ 学術大会の運營業務を学会事務局に移行を進める。

(3) 地方会開催

各地方会を次のように開催する。

北海道地方会（2回）、東北地方会（2回）、関東・甲信越地方会（4回）、東海・北陸地方会（3回）、近畿地方会（3回）、中国・四国地方会（2回）、九州地方会（4回）

2 学会誌の発行

(1) 臨床神経学の発行

機関誌「臨床神経学」55巻4号～56巻3号の全てを通常号発行する。学術大会抄録はサプリメントとして発行し、通常号も含めて全て完全電子ジャーナル化するとともに、オープンアクセス化する。

(2) 英文機関誌の発行

英文機関誌「Neurology and Clinical Neuroscience」を、隔月ごとに電子ジャーナルで発行する。

(3) 診療ガイドライン作成

- ① 新規作成として、2013年度に作成が決定されたジストニア、単純ヘルペスウイルス脳炎の2つのガイドラインに加えて、2014年度から作成に着手した脊髄小脳変性症・多系統萎縮症診療ガイドラインの作成を引き続き進める。
- ② また、2010年から2012年にかけて出版した認知症、パーキンソン、多発性硬化症、てんかんの各診療ガイドラインおよび神経疾患の遺伝子診断ガイドラインの、5つのガイドラインの改定版作成を進める。

3 啓発活動

(1) 市民公開講座を次の予定で開催する。

・ 第56回学術大会開催時市民公開講座

2015年5月24日（日）朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）

(2) 広報活動

一般社会に神経内科を正しく知ってもらうため、学会ホームページを全面的にリニューアルする。また、メディカルトリビューンの利用による広報の充実を図る。

(3) 神経内科フォーラムの活動支援

昨年度に引き続き、神経内科と神経疾患を広報する新聞広告の掲載や神経内科フォーラムの開催を支援する。

4 研究奨励

(1) 日本神経学会賞および檜林賞を授与する。

5 研究推進

(1) 将来構想の検討

将来構想委員会を中心に、「神経疾患克服に向けた研究推進の提言」の見直しなど、本学会での研究活動に関する将来構想についての検討を進める。

(2) 他団体との連携協力

神経内科学～脳科学に関する研究を推進するために、日本学術会議、日本医学会、日本脳科学関連学会連合、あるいは関連する他学会等と連携協力して活動する。

6 専門医及び教育施設の認定

(1) 専門医

① 第41回専門医試験を次の予定で実施する。

- ・ 第1次試験 2015年6月13日（土）（東京大学教養学部駒場キャンパス）
- ・ 第2次試験 2015年7月11日（土）（日本都市センター会館）

② 第21回専門医認定更新を実施する。

(2) 教育施設

① 施設認定更新

2016年4月1日から認定する施設認定について、認定手続き（新規及び更新）を実施する。

② 指導医認定

2016年4月1日から認定する指導医認定を実施する。また、2015年3月31日で認定期間が満了となる指導医の認定更新を実施する。

(3) 専門医制度

専門医制度の改革について、内科系関連学会と協力して制度の運営方法等について検討する

とともに、神経内科領域における専門医育成のための教育・研修カリキュラムおよびプログラムの作成作業を進める。

7 会員を対象とした教育及び啓発活動

(1) 生涯教育講演会

- ① 第56回学術大会開催時に第12回生涯教育セミナー（レクチャーおよびハンズオンセミナー）を開催する。
- ② Neuromuscular Conference 共催でハンズオンセミナー「神経・筋生検」を実施する。
- ③ 以下の地区で生涯教育講演会を開催する。
北海道地区、東北地区、関東・甲信越地区、東海・北陸地区、近畿地区、中国・四国地区、九州地区。
- ④ 地方会でもできるところから、ハンズオンセミナーを実施する。

(2) 専門医育成教育事業

- ① 第56回学術大会開催時に第5回専門医育成教育セミナーを開催する。
- ② 2015年12月6日（日）に千葉県船橋会場で第6回専門医育成教育セミナーを開催する。

(3) 卒前・初期臨床研修教育事業

- ・神経内科への入局者増加を目的とする神経内科紹介DVDを作成し広報活動を行う。
- ・昨年行った教育施設対象のアンケート結果に基づき、神経内科への入局者増加対策を検討する。

(4) 教育コンテンツ配信事業

第56回学術大会時に開催した生涯教育セミナー（レクチャー）、専門医育成教育セミナーを収録し配信する（学会ホームページ会員専用ページから閲覧）。

また、人工呼吸器およびてんかん重積発作の処置に関するコンテンツを制作し、配信する。

(5) メディカルスタッフ教育事業

第56回学術大会開催時に、新たにメディカルスタッフを対象とした教育セミナーを実施する。

(6) Excellent Teacher 表彰事業の実施

学会主催の教育セミナーの講師や教育用動画制作で教育活動に貢献した会員を表彰する。

(7) 会員の研修支援に関わる新制度の検討

新しい制度により、会員の研修を支援する。

(8) 専門医テキストの作成

主に専門医を目指す医師を対象とするが、生涯教育にも役立てること目的としたテキストの作成を進める。

(9) 学術大会時の教育プログラムについて

学術大会時の教育プログラムを、会員により体系的かつ効果的に提供できるようそのあり方を検討するとともに、第57回学術大会でのプログラムに反映させる。

8 診療向上のための活動

(1) 診療報酬改訂への取り組み

2016年度（平成28年度）診療報酬改訂のための準備を行う。

(2) 新薬承認審査の促進等に関する要望活動

神経疾患患者に対する医療の質の向上を図る一環として、必要に応じて新薬承認審査の促進等に関する要望活動を積極的に行う。

9 WCN2017開催準備

WCN2017運営準備のために整備した組織により本格的な準備を行うとともに、WCN2015の会場等での広報活動を積極的に行う。

10 国際協力

- ① アジア地域の神経内科医との交流を促進するため、シンガポールでジョイントシンポジウムを開催する。
- ② WCN、AOANなど国際学術集会に学会員が積極的に参加するよう広報する。

11 学科の将来計画に関する検討

昨年度「神経疾患克服に向けた研究推進の提言」をまとめ関係機関に意見を提出したが、本年度は引き続き将来構想委員会で、研究戦略について検討を行う。

12 その他の事業

① 災害支援ネットワークシステムの充実

災害発生時の模擬訓練を行うとともに、災害発生時の対応マニュアルの作成、災害時医療支援ネットワークシステムをより使いやすくするための改修を行う。

② キャリア形成促進事業

女性医師間の情報交換の場を設置することや診療現場での情報交換の機会を作るなど、女性医師のキャリアを促進するための事業を行う。

13 一般社団法人としての運営

① 理事選挙

2016年5月の学術大会終了後から任期が始まる理事の選挙を行う。

② 日本医学会連合との連携

一般社団法人日本医学会連合に協力し連携を進める。